

ようこそ KUTCHAN へ サンモリッツ からの留学生

2024年に姉妹都市提携60周年を迎えたスイス・サンモリッツとは、住民同士の交流を中心に親交を深めてきました。

公式訪問団や民間訪問団などのほかに、両都市は「青少年交流事業」にも力を入れて取り組んでいます。今月号の特集では、青少年交流事業で10月に倶知安を訪れたサンモリッツの学生の様子を紹介します。

青少年交流事業とは？

倶知安とサンモリッツは、1996年から「青少年交流事業」を開始しています。

この事業では、両都市の中高生が互いの土地を訪れ、現地の生活や文化・教育などを体験してもらえよう実施しています。将来を担う子どもたちが両都市の違いを体感することで視野を広め、倶知安・サンモリッツ間の友好関係の促進を図ることを目的に行っています。

1997～
2017年



在サンモリッツ
ライニー通信員

2017年～



在サンモリッツ
スズイー通信員

通信員との連携でつながる交流の形

青少年交流事業は、姉妹都市通信員とのやり取りを経て実施されていますが、災害の発生や感染症の流行などにより実施がかなわない年もありました。それでも途切れることなく約30年間も続いているのは、通信員の努力のたまものでもあるのです。

下の表は、過去にこの事業に参加した学生の人数をまとめたもので、今までに50名以上の学生たちが参加しています。

	1996年	1997年	1998年	2000年	2002年	2003年	2005年	2007年	2008年	2010年
 → 										
 → 										

2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2018年	2019年	2023年	2024年	計
										30人
										21人

23日 風土館・美術館見学

風土館では倶知安の歴史や周辺一帯がわかる巨大地図などを見学しました。美術館では見学のほか、和紙を折り畳んで模様をつける折り染め体験をしました。



買い物

24日 倶知安高校 1 日体験

スーパーマーケットや 100 円ショップ、まちの駅ぷらっとなどでお土産を購入しました。



倶高の 1 日体験では、倶高生へサンモリッツの特徴や歴史などが紹介され、英語を使った交流などを行いました。書道体験では、先生から贈られた漢字の名前を筆で書きました。



25日 着付け体験

日本文化の体験として、町民の協力のもと、振り袖やはかまの着付けを行いました。その後、神社のお参りや茶道体験もしました。



倶中生との交流

4 時間目の授業時間で交流会が行われ、英語で互いのまちについて紹介し合い、倶中生による校歌の披露、ジェスチャーなどで誕生日順に並ぶゲームをし、給食を一緒に食べました。

剣道体験

日本特有の武道である剣道を体験してもらうため、倶知安剣道連盟の協力のもと、試合を見せてもらったり、胴着を着て技の練習をしたりしました。



この事業を継続し、これからも町民の皆さんと一緒にサンモリッツとの交流を深めていきます。

26日 札幌へお出掛け

最終日は、ホームステイ先の家族が札幌市へ遊びに連れて行ってくれました。



サンモリッツからの留学生
エンリコ (15)
エリザベス (14) ヴィオラ (15)

今年度は、サンモリッツの学生が 10 月 20 日（日）から 26 日（土）まで倶知安を訪れ、昨年度の青少年交流事業に参加した子どもたちがいるホームステイ先で生活しました。滞在中は町内の方の協力のもと、文化体験や学生同士の交流などが行われました。

20日 倶知安到着

3 名は、学生のみで 19 日にサンモリッツを飛び立ち、20 時間以上の移動を経て倶知安に到着しました。



21日 倶知安農業高校 1 日体験

倶知安での初めての活動は、農高の 1 日体験で、英語で互いに質問し合い、畜産や栽培の授業では、牧草地の雑草除去やコメの選別を行いました。



ウエルカム パーティー

ホームステイ先の家族や町長・議長・在倶知安通信員を交え、一緒に夕食を食べ、3 名の学生を歓迎しました。



ラフティング

倶知安で体験できるアクティビティとして、ゴムボートで川下りを行うラフティングを体験しました。



22日 羊蹄太鼓体験

くっちゃん羊蹄太鼓保存会「鼓流」のメンバーから、町指定無形民族文化財の「羊蹄太鼓」を教えもらい、一緒に演奏しました。